

みやけの風

第 80 号

平成14年(2002年)6月1日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「もう、6月だね」「いや～、早いもんだな。ところで先週、全国から集まったボランティアが、三宅島の報告会をしたらしいな」「避難している島の人たちがどんな思いで暮らしているか知ることからはじめたいといって、50人以上が集まったんだ」「ご苦労なことだよな～」「お年寄りが島の言葉を思いっきり使えることで元気になったり、目標が出来てこれからのことが前向きに考えられるようになったというのが印象的だった」「だから。年寄りでも若いもんでも目標があるってことは、いいことだよ」

みんなの声

島を自分の目で確かめたい との思いが叶いました

三宅島は「死の島」だという週刊誌のコピーを見たことがあり、また、村当局や他の情報、島で働いている方の話を聞き、島はどうなっているのかこの目で確かめたいとの思いが叶い、5月20日竹芝出発、21日午前6時阿古港着きました。風も凪いで晴天、目に入る範囲では錆が浜に積もった火山灰もなく、山は緑がいっぱい、バスで5～6百米乗って我が家に。

一見、家は前のまま、入り口から玄関までは、火山灰は雨で流れてない。庭は一面の茅、その中からうぐいすの鳴き声、ホツとした気持ち。玄関を開けて吃驚り(ヒックリ)、家の中は鼠(ネズミ)の運動場と化し、唐紙は大小の穴、部屋は鼠君の悪戯(イタズラ)した紙屑の山、棚から落とした小物が足の踏み場もないほど散乱、家内モ一音声も出ない。

朝食もそこそこに、家内は部屋の片付けと持ち帰る物の箱詰、私は庭の茅刈りや片付け、仕事は進まないのに時間はどんどん過ぎ、気ばかりあせる。10時40分バスで墓参に、11時10分家に帰り、戸締りと鼠薬を置き殺虫剤を入れて、12時10分役場出張所前に集合。30分で、坪田周りで島を一巡り、噴火初めての一周、話には聞いていたが泥流にえぐりとられた沢、思わなところの泥流等が各所にあり、大きな樹も枯れ、枯れ木ばかりが目に入る三池、サダトー附近、島下と自然の力のものすごさを見て、その中で働く方々に頭が下がりました。

幸いにも雄山静かで白煙が上がり、一周してもガスの臭さはなくマスクも使用しない、このような事はめったにないと聞く。午後2時20分前に阿古港を出航、8時30分竹芝に。

家の片付けや点検をして、屋根の手入れ、雨戸やサッシの取替え、日常生活のための

☆ 第24回三宅島島民連絡会会議にご出席ください!! ☆

日時：6月8日 第2土曜日 13:30～15:30

場所：飯田橋セントラルプラザ 10階AB会議室

「島民連絡会会議」は毎第2土曜日、飯田橋にて開催！避難生活の課題や問題等について活発な意見交換が行われています。会議内のご意見等を「三宅島島民連絡会 運営委員会」の取り組みの基本としていきたいと考えています。どなたでも自由に参加できる場です。皆さんふるってご出席いただき、ご意見をお寄せください。

器具の取り替等、日時が長引く程被害は大きくなる、出来れば早く帰って修理等の費用を最小限にしたいと思つた。

一時帰島に際し、多くの方々は大変お世話になりました。心からお礼申し上げます。
(港区 寺本 達)

復興の様子に 勇気をいただいた島原行き

先日、民生委員の研修で、1泊2日の日程で島原に行ってきました。

東京からはあいにくの天候でしたが、無事長崎空港に到着。昼食後、バスで普賢岳へ直行、山の途中で、三宅のガスと同じ匂いがしたり、三宅でよく見られる木、草、

花となつかしく思いながら、山頂に向かい

ました。

普賢岳の印象は、頂上に大きな岩が重なり合っていて出来ている山で、不思議な感じ。「百聞は一見にしかず」このことわざがピッタリです。

12年前の噴火では、火山学者ほか43名の尊い命を失い、600度の熱風が走り抜けた学校、泥流で埋まった家屋と見るも無残な光景でした。それでも現在は、被災そのままを保存して、観光地としてたくさんのお客さんを誘致しています。島原の方々のたくましさを感じられました。

災害と復興、災害と観光、と、三宅島との共通点がここにあるように思い、勇気をいただいて帰ってきました。

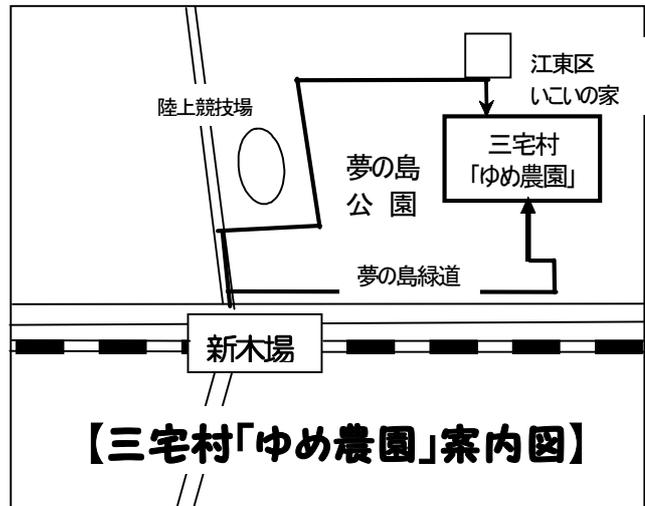
(八王子市 石井 節美)

「ゆめ農園」初夏の花壇一般公開イベント

本年1月に開園した三宅村「ゆめ農園」では、帰島後の早期営農再開に向けた栽培技術の維持・研修などを目的にして、花卉類や緑化用苗木などの栽培管理に励んでいます。パイプハウスや花壇には、観葉植物類や草花などが順調に育っており、特に、造園した花壇ではサルビアやマリーゴールドなどが真っ盛りを迎えます。

そこで、広く都民に「憩いの場」を提供するとともに場員との交流を深めるため「ゆめ農園」の一般公開を

いたします。又、ご来場の方々には、場内をご案内、園芸相談などのほか、生産した草花の苗をプレゼントいたします。是非この機会に、夢の島に「ゆめ農園」をたずねてみてはいかがでしょうか？



【三宅村「ゆめ農園」案内図】

日時：平成14年6月10日(月)～14日(金) 10:00～15:00 (雨天決行)

場所：東京都江東区夢の島3番地30(新江東清掃工場となり)三宅村「ゆめ農園」圃場
JR京葉線、営団地下鉄有楽町線、臨海高速鉄道りんかい線 新木場駅下車徒歩15分(夢の島公園およびいこいの家経由、あるいは夢の島緑道公園経由)

お問い合わせ：

三宅村役場農林水産業整備担当課(担当:平松) 03-5320-7828(内)45-651
三宅村「ゆめ農園」(担当:守屋) 03-3522-6680